



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 37

発行 令和3年12月24日
発行責任者 校長 菅野 靖



明日から17日間の冬休み 気持ちを強くもち計画した学習への取組と規則正しい生活を

長い84日間の2学期も本日で終了です。2学期は新型コロナウイルス感染症の影響で、五箇地区内を離れずなく校内駅伝大会の中止や県南中体連駅伝競走大会への参加の見合わせ、修学旅行の時期や方面の変更など、活動に制約がかかり例年通りの教育活動ができませんでした。そのような中でも、生徒の皆さんは、制限された活動に悲観せず、与えられた状況の中でやるべきことをしっかりとやり、授業や行事に一生懸命に取り組みました。充実した2学期の取り組みにより、学力や心身を成長させ、人間性を向上させられた人も多かったと思います。明日から、17日間の冬休みを迎えますが、年末年始と何かと忙しい時期で、あっという間に時間が過ぎてしまいます。3年生は私立高校の入試もあります。志を強く持ち、時間を上手に使って、自分で決めた学習計画と生活を確実に実行できるよう、一人一人心がけた冬休みを過ごしてほしいと思います。

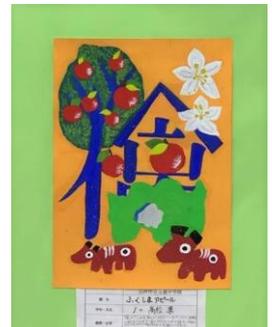
福島県造形秀作審査会

4名の作品が県の審査会で「特選」受賞

東西しらかわ中学校造形作品展に出品した11名の作品から、4名の作品が「特選」をいただき、県中学校造形展作品秀作審査会に出品されました。その出品した4作品が「特選」をいただき、大変素晴らしい結果でした。

- 佐藤 陽香さん(1年生)「ありがとう私のスパイク」使用した感が出るよう細かいタッチで描きました。
- 乾 琴葉さん(1年生)「夢」遠くから見ても見えるように稜線や色をはっきり濃く描きました。
- 鈴木 優斗さん(2年生)「出入口」光と影をデッサンのように強弱をつける工夫をしました。
- 高松 凜さん(2年生)「ふくしまアピール」色相感に気を付けながら丁寧に仕上げることができました。

なかなか、県レベルの美術作品コンクールで特選を受賞することは難しく、大変名誉なことであると思います。日頃の授業で、作品の制作に真摯に向かい会い、豊かに発想した構想や造形的な美しさ、表現技法が評価されたのだと思います。主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美を愛好する心情や豊かな生活を創造していけるよう、これからも取り組んでほしいと思います



第40回全国中学生人権作文福島大会

鈴木惺娜さん奨励賞受賞 五箇中学校感謝状授与

12月10日(金)に人権擁護委員の佐藤正弘様に来校して頂き、「全国中学生人権作文コンテスト福島大会」の表彰伝達が行われました。3年の鈴木惺娜さんが『奨励賞』を頂き、五箇中が人権についての作文を多く応募したことに対する『感謝状』を頂きました。これからも、人権について考える機会を多く設けていきたいと思ひます。



【人権擁護委員より授与】



第2回数学能力検定

3年生【数検3級(中学校卒業程度)以上】の取得率は78%

11月12日(金)に行われた第2回実用数学技能検定に合格した生徒に合格証をお渡ししました。合格者は次の通りです。

- 【3級】大輪優奈さん 鈴木優斗さん 【3級計算技能】児玉愛花さん
 - 【4級】大竹琉天さん 齋藤正弥さん 【5級数理技能】佐川柊真さん
- 全校生での数検【3級】以上の取得者は 3年生：14人 2年：2人
検定取得を推奨していますが、大変素晴らしい取り組みです。



【3級合格の鈴木優斗さん】